

校内実習で**委託作業**に取り組みました！

令和4年6月28日

6月7日から6月17日までの2週間、企業から委託を受けた作業に取り組みました。取り組んだ作業と、その様子について紹介します。

早田株式会社 様

「マスキングテープの梱包」

「七夕紙の袋詰め」

伊万里焼の模様を模したマスキングテープ「献上しますて。」を箱に詰める作業と七夕仕様の花紙「七夕紙」を決められた数だけ袋に詰める作業を行いました。どちらもきちんと数を数えて間違えないように箱詰めや袋詰めを頑張りました。



九州海陸運輸 様

「銅線のテープはがし」

銅線の端材についているテープを手作業で取り外し、銅線とそれ以外のものに仕分ける作業を行いました。銅線にテープが残らないように丁寧に取り外せるように気をつけて頑張りました。また、決められたノルマをなるべく早く終わらせることができるように、素早く行うことも意識して頑張りました。

フェルマ木須 様 「麦わらのストロー」

SDGs 実現に向けた「ふぞろいのストロー」プロジェクトで取り扱われる麦わらのストローの切り分け作業を行いました。ストローの規格に合うように気をつけて麦わらの切り分けを頑張りました。また不良品を出さないためにも納品前にきちんと検品を行いました。
(↓この取り組みが生活にどのように結びついているか、講話をいただきました。)



大川三世代 様 「ダイレクトメッセージの袋詰め」

お客様に発送するダイレクトメッセージの袋詰め作業を行いました。お客様に届くものなので、紙が折り曲がらないように、そして封をするテープにしわがでないように気をつけたりしながら頑張りました。最終的にはノルマであった1040セットを完成させることができました。(→大川三世代の方から、”お客様の声”を製品づくりに生かす取り組みについて、講話をいただきました。)



○委託作業を振り返って・・・

通常の作業学習とは異なり企業の商品を取り扱うため、生徒たちも初めのうちは不安を感じていました。しかし、実際に取り組んでみると、「思っていたよりも自分たちはできるんだ。」や「1人では難しい作業であっても、みんなで協力したり作業手順を工夫したりすればうまくいく。」といったことに気づくことができ、だんだんと自信をもって作業に取り組むことができるようになりました。各企業様から依頼された通りに商品の納品をすることができたため、生徒たちは大きな達成感を得ることができました。